

2018年1月 全国牧師会

Jerry Page 講師 資料

1. 祈りと伝道における証の書……………1
2. キリストの愛につながるための提案……………4
3. 神への讃美……………6
4. すべての人を一つに……………15

祈りと伝道における証の書

靈感に満ちた書物や経験から、次の二つの事柄が、すべての伝道が完全に用いられ、聖霊によって力づけられるために必要であると言えます。1) 多くの個人的な祈りと共同体の祈り、2) より多くの教会員による伝道

1. 「主が当時（初代教会の頃）、ご自分の民になさったことは必要不可欠なことであり、さらに、今日、主はご自分の民に同様のことをなさっておられます。使徒たちがしてきたことはすべて、今日のすべての教会員に求められていることです。さらに、私たちは、増え広がる罪のために、さらなる悔い改めを呼びかけ、さらなる素晴らしい対策として聖霊とともに、熱心に働くよう、召されています」『教会への証』第7巻、p.33
2. 「真の敬虔が私たちのうちに回復されることは、すべての必要の中で最大の、最も急を要するものです。これを求めることが、私たちの第一にしなければならないことです。…天の父は、求める者に聖霊を与えようとして待っていておいでになります。それは、地上の両親が子どもによいものを与えようとしているのと同じです。しかし、罪を告白し、自尊心を取り去り、悔い改めと熱心な祈りによって神が祝福を与えてくださるお約束の条件を満たすのは、私たちがしなければならないことです。リバイバルは、祈りの応答としてのみ期待できるものです」『セレクトッド・メッセージ』第16章
3. 「熱心な祈りの声ほどサタンの全軍をおののかせるものはありません」
『祈り』第27章、419頁
4. 「われわれがこのようにして求めなければ与えられないものが、信仰の祈りにこたえて、われわれにさずけられることが、神のご計画の一部である」
『各時代の争闘』下巻、第32章、320頁
5. 「責任ある立場の人が、互いに話し合いを持つため、また神のみが与えることのできる知恵を求めて、熱心に祈るために共に会するのは神のご命令です。心を合わせ、神に、抱える問題のすべてを話しましょう。多言は不要です。益にも何の光にもならない会話や議論に多くの尊い時間が失われています。神が豊かに与えたもうことを約束してくださった知恵をひたすら求めて、愛する兄弟方が共に集い、断食して祈り合いましょう」
『祈り』第5章、81頁
6. 「もしあなたがたのうちのふたりが、どんな願い事についても地上で心を合わせるなら、天にいますわたしの父はそれをかなえて下さるであろう」マタイ 18:19,20
求めなさい。そうすれば祈りに応えよう。

「この約束は、教会の一致した祈りが捧げられるという条件の下で与えられ、個人的な祈りに対する応えより、さらに偉大な力が祈りの応答として与えられるのです。その力は教会員の一致や神への愛、互いの愛に比例して与えられます」

“Letter 32, 1903”, p.5

7. 「神の働きが最大の勝利を得ることができるとしたら、それは難しい議論を重ねたり、目立つ宣伝を広範囲に行ったり、多くの効率的な手法を用いていることの結果ではありません。熱心な信仰の人が神と向かい合い、力強い万能の御手をしっかり握って懇願する時に得られるのです」『福音宣伝者』 259 頁
8. 「生ける神の言葉は単に書かれたものではなく、語られたものです。聖書は、私たちが自分の耳で聞こえるように語られた、神の声です。私たちがこのことに気づくなら、教えを求める時、どんなに畏敬の念を持って求めるでしょう。聖書を読み、瞑想することは、無限なる神の御声を拝聴しているとみなされるべきことなのです」
『教会への証』 第 6 巻、p.393
9. 「世界はかつてみられなかったような緊張につつまれている。娯楽に、金もうけに、権力争いに、生存競争に、心も魂も肉体も恐るべき力にひきずられている。このたけり狂うあらしのさなかに神は静かにお語りになっている。神はわれわれにその中から出て神と交われと仰せになっている。『静まって、わたしこそ神であることを知れ』と神は仰せになっている。
祈りの一時においてさえ、真に神と交わる祝福を受けられない人が多い。彼らはあまりに性急である。彼らは急ぎ足でやってきて、キリストの愛の座に割り込み、聖なる囲いの中にしばらく休息するが、しかし勧告を待ち望む気持ちがない。彼らは天来の教師と共にとどまる時間を持つとしない。そうして重荷を負ったまま働きにかえって行くのである。
このような働き人は、力の秘訣を学ばないかぎり決して最高の成功に到達し得ないであろう。知・徳・体の能力が一新されるためには、考え、祈り、神のみそばに仕える時間をもたなければならない。みたまの力によって高められなければならない。この力を受けるときに、新鮮な生命がよみがえるであろう。疲れた身体と頭脳は生気をとりもどし、心の重荷は軽くなるであろう。
我々にとって必要なことは、神のみ前にちょっとひと休みすることではなくてキリストと直接に交わること、座してキリストと交わることである」『教育』 307, 308 頁
10. 「両親は素晴らしい責任ある働きが与えられています。彼らは良くこのように自問するでしょう。『一体誰が、これらの働きに十分な資格があるのだろうか』。しかし、神は、信じて求める者に知恵を与えると約束しておられます。そして神は実際、御自身が言われたとおりにして下さいます。神のみ言葉をその通りに信じる信仰を神はお喜びになります。アウグスティヌスの母はその息子の改心のために祈りました。神の霊が息子の心に強い感化を与えているという証拠は見られませんでした。しかし母は決して失望しませんでした。彼女は、その指を聖句に置き、神にそのみ言葉を指し示すかのように、必死で訴え続けました。それはまさに、母親のみができる命がけの懇願でもありました。彼女の深い謙遜と熱心な要求、そして微動だにしない堅固な信仰—これらの力は実に偉大でした。今日、主は、このような熱心な祈りを神の民から聞きたいと、耳を傾けて待っておられます。『主の手が短くて救えないのではない』(イザヤ 59:1) のです。そしてもしクリスチャンである両親が神を真摯に求めるならば、神は御名のゆえに、子供たちの改心のために大きな業をなして下さいます」
『祈り』 第 24 章、389 頁

11. 「自己のことを考えていると、心は、力といのちの源であるキリストから離れていきます。そして、悪魔は、人の心を救い主からそらそうと絶えず努力して、キリストとの一致と交わりを妨げようとするのです。世の快樂、生活上の心配事、悩み、悲しみ、他人の欠点、または、自分の欠点や不完全さ、こうしたものの全部、またはそのどれかに私どもの心をひこうと、悪魔は必死になっています。悪魔の策略に迷わされてはなりません。本当に良心的で、神のために生きたいと望んでいる人々にさえ、悪魔は、自己の欠点や弱さのことばかり考えさせ、こうしてキリストより離して、ついには勝利を得ようと願っています。私どもは、自己を中心としてはたして自分は救われるかどうかと心配したり恐れてはなりません。これはみな、私どもの心を力の源である救い主から離してしまいます。魂を全く神に委ねて、神を信頼し、イエスのことを語り、考え、おのれをキリストのうちに消失させてしまわねばなりません」
『キリストへの道』 96 頁
12. 「わが民に与えることのできる最大の助けは、彼らに神のために働くことと、牧師にたよらず神にたよることを教えることである」『クリスチャンの奉仕』 第 5 章
13. 「わが国において、人々の想像を毒し、宗教的印象を殺し、静かな楽しみと人生の真面目な現実への好みを鈍らせるのに、劇場の娯楽ほど強力なものはほかにありません。酔う飲料を飲めば飲むほど、なお、ほしくなるように、こういう場所へも出入りすればするほど、ますます心が引かれるようになります。唯一の安全な方法は劇場やサーカスや、その他のいかがわしい娯楽の場所を一切避けることです」
『青年への使命』 382, 383 頁
14. 「成功の秘けつは神の力と人間の努力の結合である。最高の結果を達成する者は、全能者の腕に絶対の信頼をおく人である。『日よ、ギベオンの上にとどまれ、月よ、アヤロンの谷にやすらえ』と命じた人は、ギルガルの陣営で、何時間も祈りのうちに地にひれ伏していた人である。祈りの人は力の人である」
『人類のあけぼの』 第 47 章、135, 136 頁

キリストの愛につながるための提案

1. 心からイエスの働きのために自分自身を準備するために、まず、一日の最初の一時間をささげるようにしましょう。イエスが心に入られるまで、あなたの心の扉を開くよう日ごとに決心しましょう。
2. ヨハネによる福音書、『各時代の希望』、詩編、エレン・ホワイトのディボーションのための書籍、またはアンドリュー・マーレイ著の『キリストに繋がる』などの本を使いましょう。
3. (聖書通読やプレゼンのための学びや読書といった) 特定の課題を設けずに、神の愛を経験することだけを求めましょう。
4. 「あなたが私を愛しておられることを頭では知っています。今、私の心でその愛がわかるようにしてください。私をあなたのものとし、私を抱き、あなたの愛で満ちあふれさせ、私の中にお入りください。私を愛してくださり、ありがとうございます」と祈りましょう。
5. 祈り、読み、聴き、書き、また、祈り、読み、聴き、書きましょう。
6. 神の愛をほんの少しでも心から経験したときには、神に感謝し、賛美をささげましょう。このように信仰を表現することによって、喜びとともにますます神を知るようになるでしょう。

キリストにつながるために日毎に必要な7つの必須事項

1. 朝起きて一番に、神だけと一緒に過ごす時間を取りましょう。
2. 御言葉を通して神の声に耳を傾け、一方通行ではなく、双方向の祈りを通して神の声に耳を傾けましょう。
3. 自分の必要を理解する－イエスなくしては、自分には有害なことしかなし得ないことを理解するまで謙遜になりましょう。
4. 以下のことを求めましょう。
 - ①キリストの人生（命）が、あなたの人生（命）にとって代わるように。
 - ②キリストのご品性があなたの内に表れるように（聖霊が示してくださる必要な品性の名前を挙げてください）。
 - ③神の意志があなたの意志にとって代わるように（意志を明け渡すこと）。
 - ④聖霊により、キリストが一日中、あなたの内に宿り、あなたの思考や感情がキリストのものとなるように。
 - ⑤神の愛があなたを通して表され、自然と周囲の人々が神御自身に引き寄せられるように。
5. あなたが祈ったすべてのことを神がなしてくださっていると信じ、あなたが信仰において強く成長するように、まだ見ることのできないものについて感謝することによって、あなたの信仰を表現しましょう。
6. 一日中、あらゆることについて、キリストと語ることにより、キリストの愛の内に生き、物事の大きさに関わらず、あらゆる祝福についていつも讚美し、神の愛を感謝することを忘れないようにしましょう。
7. 神の愛を喜ぶことによって、また、争いの中にあることに気づいた時、肉の思いを聖霊の思いに変えていただくことで、勝利の生活をしましょう。

ヨハネ 4:14

「しかし、わたしが与える水を飲む者は決して渇かない。わたしが与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る」

神への讃美

1. 感謝や讃美は磨かれる必要がある―歴代誌上 16:8-36

「10人の癩病人がいやされた時、1人だけがイエスを賛美するために帰って来た。われわれは、神のなさに心を動かさなかった、思慮のない9人のようにならないようにしましょう」『教会への勧告』第2編、第13章

「この比類のない神の愛のゆえに、彼をほめたたえるように自分の心とくちびるを教育し、魂が希望にあふれ、カルバリーの十字架から輝く光の中に居ることができるように教育しよう」『ミニストリー・オブ・ヒーリング 2005』241頁

注：エレン・ホワイトは出版社の従業員に次のように提案しています。

「毎週一度は賛美の集会を開くべきである」『教会への証』第4巻, p.461

「キャンプミーティングでシンプルな、感謝を捧げる集会は毎日開かれるべきである」『教会への証』第6巻, p.62

2. 讃美の力―歴代誌下 20:20-30

「神を賛美するよう、あなたの唇を訓練し、あなたの心が神に向かって音楽を奏できるように、あなたの心を訓練し始めましょう。悪魔があなたを憂鬱な気分へと落とし込もうとする時、神へ讃美の歌を捧げましょう。あなたの家庭が困難な状況に陥る時、神の子なるキリストの美しい美しさを思い浮かべ、讃美しましょう。あなたが讃美を捧げる時、サタンはあなたから離れ去るのです」『レビュー・アンド・ヘラルド』, 1900年8月5日

「神への賛美と感謝の美しい言葉を聞いて、未信者が信仰を持つようになることがよくあります」『青年への使命』426頁

「魂をキリストにかち取るのに、これ以上有効な方法（神から受けた祝福について語り、賛美すること）はない」『クリスチャンの奉仕』第22章

「家庭で、美しい純潔な歌がうたわれるとき、人をとがめだてる言葉は少なくなり、快活さと希望と喜びの言葉が多くなる。学校で歌がうたわれるとき、生徒たちは神と教師にますます近づき、また互いに親しみを加える」『教育』198頁

3. 讃美から得られる利益―箴言 17:27

より大きな喜び（『ミニストリー・オブ・ヒーリング 2005』241頁）

神へのさらなる讃美（『教会への証』第5巻、英文 p.17）

失望を追い払う（『ミニストリー・オブ・ヒーリング 2005』244頁）

増しつづける希望と勇気と信仰（『国と指導者』上巻 168頁）

増し加わる祈りの力（『教会への証』第5巻、英文 p.317）

神の愛へのさらなる気づき (『教会への証』第5巻、英文 p.317)
心身の健康の増進 (『ミニストリー・オブ・ヒーリング 2005』240 頁)

注：「神の恵みと愛を感謝することから生ずる祝福は、それを表現する言葉がなければ、どんな人間もそれを理解することはできない」
『ミニストリー・オブ・ヒーリング 2005』241 頁

4. 神へ讃美する多くの要素の中のいくつかの項目—哀歌 3:22, 23

神の贈り物であるキリスト (『神の息子・娘』英文 p.243)
神の善と慈しみ (『教会への証』第4巻、英文 p.461)
日毎にもたらされる新しい祝福 (『ミニストリー・オブ・ヒーリング 2005』242 頁)
心の中にある神の平安 (『ミニストリー・オブ・ヒーリング 2005』242 頁)
天使によってもたらされる保護 (『教会への証』第6巻、英文 p.63)
キリストの血により贖われた水を飲む (『ミニストリー・オブ・ヒーリング』英文, p.660)
この世の恵みやあらゆる楽しさ (『家庭の教育』144 頁)
比べようもないキリストの魅力 (『教会への証』第2巻、英文 p.593)
どのパンにもおされているカルバリーの十字架の印 (『各時代の希望』下巻、141 頁)
一夜の守り (『ミニストリー・オブ・ヒーリング 2005』242 頁)
へりくだる者を神が受け入れてくださること (『キリスト教教育の基礎』英文, p.370)
キリストの再臨 (『伝道』上巻、294 頁)

注：「キリストが私たちに永遠の命を与えるために死なれたという思いは、心から、より誠実で熱心な態度を生み出し、さらに力強い讃美を生み出す」『神の息子・娘』英文, p.238、
「この偉大な贈り物は、時を超えて、永遠に続く感謝と賛美の主題を人に与えます」『我らが高き召し』2001年『今日の光』1月12日

SDA 讃美歌 26 番「輝く朝」を暗唱しましょう

あなたの心と唇が神を讃美するよう、「訓練する」計画を立てましょう
ダニエル 6:11 (口語訳 6:10) 参照

「息のあるすべてのものに主をほめたたえさせよ。主をほめたたえよ」詩編 150:6
(口語訳)

「そこで、まず第一に勧めます。願いと祈りと執り成しと感謝とをすべての人々のためにささげなさい」I テモテ 2:1

「神のみ名の栄光のために生きる機会があることを、神に賛美しよう。日ごとににもたらされる新しい祝福を、神の優しい保護の印として、賛美の念を心にいだかなければ

ばならない。朝、目覚めた時、一夜の守りを神に感謝し、心の中にある神の平安を感謝し、朝に昼に夜に香り高い香水のように、感謝を天に上らせなさい」
『ミニストリー・オブ・ヒーリング 2005』 242 頁

「神の恵みと愛を感謝することから生ずる祝福は、それを表現する言葉がなければ、どんな人間もそれを理解することはできない…だからこの比類のない神の愛のゆえに、彼をほめたたえるように自分の心とくちびるを教育し」
『ミニストリー・オブ・ヒーリング 2005』 241 頁

神への讃美により得られる祝福

1. 讃美により、信仰、希望、勇気が増し加えられる
「もしわれわれが、今もっと神を賛美するならば、希望と勇気と信仰が増しつづけることであろう」『国と指導者』上巻、168 頁
2. 讃美により、私たちの祈りの力が増し加えられる
「私たちはどうみてもあまり多く祈っているとは言えませんが、感謝をささげることについてはことさら時間を割いていないのです。神の変わらない愛のやさしさにもっと多くの感謝と讃美をささげるならば、私たちの祈りは今よりさらに大きな力を得ることでしょう」『祈り』170 頁
3. 讃美により、私たちの神への愛が増し加えられる
「神の変わらない愛のやさしさにもっと多くの感謝と讃美をささげるならば、…ますます神の愛の恵みに富む者と…なります」『祈り』170 頁
4. 讃美により、私たちの証の力が増し加えられる
「わたしたちは今より以上に、もっと自分のとうとい体験を語る必要がある。聖霊が特別に注がれると、主にある喜びとその奉仕における能力とは、神の子らに対する神の慈しみと驚くべきみわざをわたしたちが語ることによって、著しく増大するであろう」『キリストの実物教訓』278, 279 頁
5. 讃美により、素晴らしい祝福が与えられる
「神の変わらない愛のやさしさにもっと多くの感謝と讃美をささげるならば、…ますます神に讃美をささげるようになります」『祈り』170 頁
6. 讃美により、健康が増し加えられる
「感謝と賛美の精神ほど心身の健康を増進するものはない」『ミニストリー・オブ・ヒーリング 2005』240 頁
7. 讃美により、私たちが天国に引き上げられる
「私どもの魂は、賛美の歌に乗って天に近づきます。神は天の宮廷で、歌と音楽をもって礼拝を受けておいでになります。ですから、私どもも感謝をささげるならば、天軍の礼拝に近づくことができるのであります」『キリストへの道』144 頁

どのような状況においても神を賛美しましょう！

1. 「私どもの魂は、賛美の歌に乗って天に近づきます」『キリストへの道』144 頁
2. 「この地上でわたしたちを悩まし、失望させた不思議な出来事も、来たるべき国では明らかとなり、答えられそうもないと思った祈りや、また実現しなかった希望も、わたしたちに最大の祝福であったことがわかる」『ミニストリー・オブ・ヒーリング 2005』482 頁
3. 「主がどのような方法で助けて下さるかは、われわれには分からない。しかし主は、ご自分に信頼する者を決して失望に陥れられないことを知っている」『国と指導者』下巻 182 頁
4. 「もしキリスト者が、彼らに対する敵の策略をくじくために、主が何回彼らの道に指図をお与えになったかを自覚することができたならば、不平を言いながらよろめき、つまづくことはないであろう。彼らは固く神を信じて、どんな試練にも揺り動かされることはない」『国と指導者』下巻 182 頁
5. 「わたしたちが試練に耐えるように召されている事実は、主イエスがわたしたちの中に発達させようとお望みになっている、尊いものがあることを示している。もし、わたしたちの中に神のみ名の誉となるものが一つもないとわかれば、わたしたちを精錬するための時間を費やされないであろう。神は、無価値な石を神の炉の中に投げ入れられることはない。神が精錬なさるのは価値のある鉱石である」『ミニストリー・オブ・ヒーリング 2005』479 頁
6. 「神の摂理の内に、われわれを困惑させたすべてのことが、来るべき世界で明らかにされる。それまでは理解できなかったことも、その時には意味を悟ることができ、恵みの奥義が、われわれの前にはっきりと示されるのである。われわれの限りある頭脳が、ただ混乱と、破られた期待だけしか見いだせなかったところに、最も完全に美しい調和を見るであろう。無限の愛が、その時には最もつらいと思われた経験を、備えられたのだということを知るであろう」『教会への証』第9巻、英文 p.286
7. 「天の父は、わたしたちが想像さえできない多くの道を備えられている。神の働きを最も高いものとする法則を受け入れる者は、いろいろな困難が消滅し、平らな道が開けていくのを発見する」『ミニストリー・オブ・ヒーリング 2005』489 頁
8. 「神のみちびきのみ手を求めて手をさしのべているすべての者にとって、最も落胆している時が、神の助けが一番近い時である。彼らは自分たちの道が一番暗かったところを感謝をもってふりかえるであろう。『主は、信心深い者を試練の中から救い出』される（ペテロ第二・二ノ九）。誘惑のたびに、試みのたびに、主はそこから彼らを、もっと固い信仰、もっと豊かな経験をもって、みちびき出される」『各時代の希望』中巻、343 頁
9. 「神の臨在がキリストを囲んでいたため、この世の祝福のために無限の愛によって許

されたこと以外には、どんなこともキリストには起こらなかった。ここにキリストの慰めの源があり、それがまた、わたしたちの慰めである。キリストの霊で満たされている者は、キリストのうちに宿る者であり、その人に起こることはすべて、その臨在をもって彼を囲む救い主から来るのである。主の許可なしには何も彼に触れることはできない。すべての苦難、悲哀、誘惑、試練、あらゆる悲しみ、不幸、また迫害、貧困、いわば一切のものが、わたしたちの益となって共に働くのである。あらゆる体験や境遇が私たちに益となり、それによってわたしたちを神の働き人とするのである」『ミニストリー・オブ・ヒーリング 2005』497 頁

10. 「モーセは神のご臨在を深く感じていました。…人の置かれる最も困難な状況の中で、神のご臨在により、モーセは十分な慰めを得ました。モーセはただ単に神のことを考えただけではなく、神を目撃したのです。神はモーセの前にはっきりと表れました。モーセは神の御顔を忘れることはありませんでした。モーセは救い主としてのイエスを目撃し、救い主の功績が自分に与えられることを確信したのです。この信仰はモーセの憶測ではなく、事実でした。私たちに必要な信仰はこのような信仰です。この信仰により、試練に耐えられるのです。ああ、私たちがイエスから目をそらすばかりに、どれほどしばしば誘惑に打ち負かされることでしょうか。私たちは、欲や罪により、信仰を固く持ち続けることが出来ず、目に見えないお方を見ることに堪え得ないのです。

兄弟姉妹方、キリストを日ごとの友としてください。そうすれば、信仰がないと不平を言うこともなくなります。キリストを瞑想しましょう。また、キリストのご品性を眺めましょう。そして、キリストのことを語りましょう。自らを低くすればするほど、高く掲げられたキリストを眺めるようになるのです。神があなたに与えられた働きとは、あなたの前に主を掲げ続けることです」『教会への証』第5巻、英文、p.651-653

11. 「神を賛美するよう、あなたの唇を訓練し、あなたの心が神に向かって音楽を奏でるように、あなたの心を訓練し始めましょう。悪魔があなたを憂鬱な気分へと落とし込もうとする時、神へ讃美の歌を捧げましょう。あなたの家庭が困難な状況に陥る時、神の子なるキリストの美しい美しさを思い浮かべ、讃美しましょう。あなたが讃美を捧げる時、サタンはあなたから離れ去るのです」『レビュー・アンド・ヘラルド』
1900年8月5日英文

12. 「神への賛美と感謝の美しいことばをきいて未信者が信仰を持つようになることがよくあります」『青年への使命』426 頁

「それ（神から受けた祝福について語り、賛美すること）はつぶやきと不平の精神を取り去り、誘惑者を退却させる。それは地上の住民の品性を天の邸宅を継ぐにふさわしく涵養する」『キリストの実物教訓』279 頁

赦しに関する聖句

- I ヨハネ 1:9 「自分の罪を公に言い表すなら、神は…罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださいます」
- マタイ 11:28-30 「重荷を負う者は、だれでもわたし（キリスト）のもとに来なさい」
- ヨハネ 6:37 「わたし（キリスト）のもとに来る人を、わたしは決して追い出さない」
- I テモテ 1:15 「キリスト・イエスは、罪人を救うために世に来られた」
- ルカ 19:10 「人の子（キリスト）は、失われたものを捜して救うために来た」
- ローマ 8:1 「キリスト・イエスに結ばれている者は、罪に定められることはありません」
- イザヤ 1:18 「お前たちの罪が緋のようでも雪のように白くすることができる」
- イザヤ 38:17 「あなたはわたしの罪をすべてあなたの後ろに投げ捨ててくださった」
- イザヤ 44:22 「わたし（神）はあなたの背きを雲のように罪を霧のように吹き払った」

日々の生活に関する聖句

- フィリピ 4:19 「神は…あなたがたに必要なものをすべて満たしてくださいます」
- マタイ 6:33 「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる」
- II コリント 9:6 「惜しまず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かなのです」
- I コリント 10:13 「あなたがたを耐えられないような試練に遭わせるようなことはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていてくださいます」
- ローマ 8:32 「わたしたちすべてのために、その御子をさえ惜しまず死に渡された方は、御子と一緒にすべてのものをわたしたちに賜らないはずがありませんか」
- ユダ 24 「あなたがたを罪に陥らないように守り、また、喜びにあふれて非のうちどころのない者として、栄光に輝く御前に立たせることができる方」
- II コリント 12:9 「わたし（神）の恵みはあなたに十分である」
- フィリピ 4:7 「神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう」
- イザヤ 26:3, 4 「堅固な思いを、あなたは平和に守られる／あなたに信頼するゆえに、平和に」

聖霊に関する聖句

- ルカ 11:13 「天の父は求める者に聖霊を与えてくださる」
- ヨハネ 14:26 「聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたし（キリスト）が話したことをことごとく思い起こさせてくださる」
- ヨハネ 16:8 「その方（聖霊）が来れば、罪について、…世の誤りを明らかにする」
- ヨハネ 15:26 「父のもとから出る真理の霊が来るとき、その方がわたし（キリスト）について証しをなさるはずである」
- ヨハネ 16:7 「わたし（キリスト）が行けば、弁護者をあなたがたのところに送る」

エフェソ 3:16 「霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めて」

ローマ 8:26 「“霊”も弱いわたしたちを助けてくださいます」

キリストのようになることに関する聖句

Ⅱコリント 5:17 「キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです」

エゼキエル 36:26, 27 「わたし（神）はお前たちに新しい心を与え…る」

Ⅱコリント 6:16 「わたし（神）は彼らの間に住み」

エフェソ 3:16, 17 「霊により、力をもってあなたがたの心の内にキリストを住ませ」

Ⅱペトロ 1:4 「栄光と力ある業とによって、…神の本性にあずからせていただくようになるためです」

Ⅱコリント 10:4, 5 「あらゆる思惑をとりこにしてキリストに従わせ」

Ⅱコリント 3:18 「わたしたちは皆、顔の覆いを除かれて、鏡のように主の栄光を映し出しながら、栄光から栄光へと、主と同じ姿に造りかえられていきます」

フィリピ 1:6 「あなたがたの中で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださると、わたしは確信しています」

知恵と力に関する聖句

ヤコブ 1:5, 6 「あなたがたの中で知恵の欠けている人がいれば、だれにでも惜しみなくとがめだてしないでお与えになる神に願いなさい。そうすれば、与えられます」

箴言 3:5, 6 「常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる」

詩編 32:8 「わたしはあなたを目覚めさせ行くべき道を教えよう」

出エジプト 33:14 「主が、『わたしが自ら同行し、あなたに安息を与えよう』と言われる」

イザヤ 58:11 「主は常にあなたを導き」

フィリピ 4:13 「わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です」

エレミヤ 1:9 (7節と書かれていましたが、9節の方が英文で要約されている言葉にあらうと思われ、選出しました) 「見よ、わたし（神）はあなたの口にわたしの言葉を授ける」

箴言 14:26 「主を畏れれば頼るべき砦を得／子らのためには避けどころを得る」

イザヤ 41:10 「恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助け／わたしの救いの右の手であなたを支える」

イザヤ 41:13 「わたしは主、あなたの神。あなたの右の手を固く取って言う／恐れるな、わたしはあなたを助ける、と」

ヘブライ 4:15, 16 「憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜にかなった助けをいただくために、大胆に恵みの座に近づこうではありませんか」

ヤコブ 4:7 「神に服従し、悪魔に反抗しなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げて行きます」

ヤコブ 5:14, 15 「信仰に基づく祈りは、病人を救い、主がその人を起き上がらせてくださいます」

ヤコブ 5:16-18 「正しい人の祈りは、大きな力があり、効果をもたらします」

I ペトロ 5:7 「思い煩いは、何もかも神にお任せしなさい」

I ヨハネ 5:14, 15 「何事でも神の御心に適うことをわたしたちが願うなら、神は聞き入れてくださる」

その他に関する聖句

エゼキエル 11:19, 20 「わたしは彼らに一つの心を与え、彼らの中に新しい霊を授ける」

I ヨハネ 5:16 「死に至らない罪を犯している兄弟を見たら、その人のために神に願いなさい。そうすれば、神はその人に命をお与えになります」

ヨハネ 12:32 「わたし（キリスト）は地上から上げられるとき、すべての人を自分のもとへ引き寄せよう」

使徒言行録 5:31 「神はイスラエルを悔い改めさせ、その罪を赦すために、この方（キリスト）を導き手とし、救い主として、御自分の右に上げられました」

ヨハネ 16:8 「その方（聖霊）が来れば、罪について、…世の誤りを明らかにする」

ヘブライ 4:12 「神の言葉は生きており、…心の思いや考えを見分けることができるからです」

エレミヤ 32:40 「わたしに従う心を彼らに与え、わたしから離れることのないようにする」

エレミヤ 33:3 「わたしを呼べ。わたしはあなたに答え、あなたの知らない隠された大いなることを告げ知らせる」

イザヤ 49:24, 25 「主はこう言われる。捕われ人が勇士から取り返され／とりこが暴君から救い出される」

あらゆることに関する聖句

詩編 34:10 「主を畏れる人には何も欠けることがない」

詩編 37:3-5 「主に自らをゆだねよ／主はあなたの心の願いをかなえてくださる。あなたの道を主にまかせよ。信頼せよ、主は計らい」

詩編 84:12（口語訳 11 節）「完全な道を歩く人に主は与え／良いものを拒もうとはなさいません」

エフェソ 3:20 「わたしたちの内に働く御力によって、わたしたちが求めたり、思ったりすることすべてを、はるかに超えてかなえることのおできになる方に」

ルカ 1:37 「神にできないことは何一つない」

マルコ 11:24 「祈り求めるものはすべて既に得られたと信じなさい」

ローマ 8:28 「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています」

ヨハネ 16:24 「願いなさい。そうすれば与えられ、あなたがたは喜びで満たされる」

ヨハネ 15:7 「あなたがたがわたし（キリスト）につながっており、わたしの言葉があなたがたの内にいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる」

ヨハネ 15:16 「わたしの名によって父に願うものは何でも与えられるようにと、わたしがあなたがたを任命したのである」

ルカ 11:9 「求めなさい。そうすれば、与えられる」

マタイ 28:20 「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」

追記：「すべて神の命じるところは神にあって可能である」。神は力を与えられずに命じることがなさいません。したがって、すべての聖書における命令は約束でもあるのです。

「すべての人を一つに」
より良い関係のための原則

あなたが苦手な人のことを考えてください。
「なぜ、イエスはこの世に来られたのですか」

- A. イエスは私たちのために祈られました。ヨハネ 17:21
「父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります」
- B. イエスがこの世に来られた主な二つの理由
1. イエスの完全な生と死によって、父なる神と私たちを和解させるため
ローマ 3:2、Ⅱコリント 5:7-21
 2. 完全なアガペの愛の関係の内に、私たちを互いに和解させるため
(私たちの内に神のかたちを回復させる) ヨハネ 17:21-23、エフェソ 2:13-18
- . 主の御心——私たちが一つとなることにより、この世が神を信じる
- C. 「キリストの教会を最も危うくするものは、この世の反対ではない。教会を最も深刻な不幸に陥れるものは、信者たちの心に隠された悪であり、それは最も確実に神のみわざの進展を遅らせる。ねたみ、疑い、あさがし、悪意ほど霊性を弱めるものはない。一方、神の教会を構成しているいろいろな性質の人たちの間における調和と一致は、神がみ子をこの世におつかわしになったことを最も確かにあかしするものである」
『患難から栄光へ』下巻、252, 253 頁

関係を良くする 7 つの原則

1. 人々を変えようと試みたり、聖霊がなすべき働きをあなたがしようとする代わりに、執り成しの祈りを捧げましょう。
 - A. 下記の聖句の約束を唱えましょう。
□ヨハネ 5:16, イザヤ 42:7, 16, 使徒 26:18, イザヤ 65:1, エレミヤ 24:7, エレミヤ 3:22, エゼキエル 37:2, 3
 - B. 主との静かな時間を過ごすことで、主は私たちが問題の一部であることを示して

くださるか、私たちの前に鏡を置いてくださいます。それにより、私たちは自ら変えていただく必要を悟るのです。ガラテヤ 6:1-3, ルカ 6:37, 38, 41, 42

C. 他者への「説教」を控え、聖霊の実を表す生き方をしましょう。

D. 聖霊が私たちを導かれる時のみ、行動を起こしましょう。

2. 気質の多様性や、個々を違うものとして造られた神の御業を尊重しましょう。

A. 主は私たちを異なるものとして創造し、異なる賜物を与えられました。それは、キリストの体のそれぞれの部分が補い合うためです。エフェソ 4:1-32

B. 御霊により、感情を注意深く観察し、神が私たちと関係を持つようにしてください。人々の権利を尊重しましょう。

「同じ家族でも、お互いの気質や性格がそれぞれ非常に違っているということがよくあります。いろんな気質の人たちが共に交わるということが神のお考えだからです。ですからこういう場合、家族のひとりびとりが、お互いの感情を大事にし、お互いの権利を尊重しなくてはなりません。こうすることによって、互いの思いやりと忍耐が養われ、偏見がやわらげられ、品性の粗野なところがみがかれていきます。そしてそこに調和が得られ、多種多様の気質の人がまざり合うことによって、互いに益となりうるのです」
『家庭の教育』208 頁

3. 人々の動機や行為を最も好意的に受け止めましょう

A. もっと聴くことに努めましょう。まずは明確に相手を理解することに努め、それから自分を理解してもらうことを求めましょう。間接的に聞いた情報によって判断しないようにしてください。

B. 「キリストのような愛は、他人の行為と動機を最も好意的に解釈する。それは、不必要に彼らの欠点を暴露したりしない。それは、好ましくない噂に聞き耳を立てたりせず、むしろ、他の人々の良い特質を思い起こさせようと努めるのである」
『患難から栄光へ』上巻 343 頁

4. キリストの指示に従い、他者に問題を話さないようにしましょう

A. その人を造り上げるのに役立つ言葉だけを、必要に応じて語ってください。語ろうとすることが真実だったとしても、その人の役に立たなかったり、問題を解決しないのであれば、語らないでください。エフェソ 4:29-32

B. すべての状況において、聖書の順序に従ってください。

(1) マタイ 18:15-17 兄弟があなたに対して罪を犯した場合

- ① 行って二人だけのところで忠告しなさい
- ② 聞き入れなければ、ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい
- ③ それでも聞き入れなければ、教会に申し出なさい

(2)マタイ 5:23, 24 だれか、あなたに「反感を持っている」ようなら、礼拝する前に、行って兄弟と仲直りをしなさい

(3)状況を知らない人や問題解決に関わりのない人には語らないようにしましょう

5. 私たちの「権利」や「期待」を神にゆだねましょう

A. キリストはご自分の権利を擁護なさるために吹聴したり、ご自身の期待に沿わないような時、怒りに身を任せるようなことはなさいませんでした。私たちの人間関係の問題の多くは、私たちの「権利」を擁護しようとするところから始まります。

(1)律法を愛する人には豊かな平和があり、つまずかせるものはありません。
詩編 119:165, ルカ 6:27-36

B. 「愛のむち」が必要な時があります。しかし、自己中心からのものではなく、主の御心から来るものであるか確認しましょう。

6. 悩みの種について神を讃美しましょう

A. 他者の良い所をリストアップし、それらのことについて神に讃美しましょう。

B. 「あなたの悩みの種となっている人」が祝福されるよう祈りましょう。マタイ 5:43, 44

C. 讃美は悪天使を追い出します。

「あなたの家庭に問題が起こった時、神の御子の比べようもない麗しさを讃美しましょう。あなたが讃美をする時、サタンは逃げ去るのです」。

『レビュー・アンド・ヘラルド』1900年8月5日

D. 見上げることによって、私たちは変えられます。良いものを思い続けましょう。
フィリピ 4:4-9

7. プライドや利己主義は捨て去りましょう

A. 自我やプライドを脇へ置くならば、5分間でほとんどの困難な状況は解決できます。

「わたしは、残りの民が、この地上に起ころうとしていることのために、準備をしていないのを見た。最後の使命を持っているという信仰を公言する人々の大部分は、昏睡状態のような無感覚に陥っている。わたしと一緒にいた天使は、非常な厳粛さをもって叫んだ。『準備せよ、準備せよ、準備せよ。神の恐ろしい怒りが間もなく臨もうとしている。神の怒りは、憐れみを混じえないで、注がれようとしている。それなのに、あなたがたは準備ができていない。衣を裂かないで、心を裂きなさい。残りの民のために、大いなる働きがなされなければならない。彼らの多くは、小さい試練に心を奪われている』。天使は、また言った。『悪天使の軍勢が、あなたがたの回りにいて、あなたがたをわなにかけて捕えるため、その恐ろしい暗黒を忍びこませようとしている。あなたがたは、準備の働きと、この最後の時代のために、何よりも重要な真理から簡単に心をそらせてしまう。そして、あなたがたは、小さい試練に心を奪われている。そして、ちょっとした困難の細かな点まで、だれかれの満足を得るために説明しようとしている』。両者の心が恵みによって和らげられていない時には、関係者間の話し合いが何時間も続き、彼らの時間だけでなく、それを聞くために引き留められた神のしもべたちの時間も浪費されるのである。もし、誇りと利己心が取り除かれれば、たいいてい問題は、5分間で解決する。自己を正当化するために多くの時間が用いられることを、天使たちは悲しみ、神は不快に思われる。神は、自分を正当化する長い言葉に耳を傾けず、また、彼のしもべたちがそうするのを望まれないことを、わたしは見た。こうして、罪人に彼らの道の誤りを示し、火の中から魂を救い出すために用いられるべき尊い時間が浪費されるのである」『初代文集』英文 p.119, 120

現代のペトロ

主よ、あなたは私が今、行っている以上に要求なさいますか。私はあなたのための働きを忙しくしていますが、それがあなたが私にさせようとしておられる働きなのか確信が持てずにいます。主よ、より良くあなたにお仕えするためには私は何が出来るのでしょうか。

わが子よ、何もありません

しかし、主よ、あなたへの働きに、なぜ、私は不満を抱いてしまうのでしょうか。私は自分自身とお金を惜しみなくささげています。私は教会の執事でもあり、安息日学校の教師でもあります。私は伝道のために多くの時間を割いています。これ以上、あなたのために何が出来るのでしょうか。

わが子よ、何もありません

しかし、主よ、個人的にも公にもあなたに献身しているにも関わらず、私の内側には虚しさが残っています。これ以上、何が出来るのでしょうか。

何もありません。わが子よ、聞きなさい。私のために行うことを止めなさい。

何ですって！ 主よ、合理的に考えてみてください。あなたは私の働きを祝福してくださいました。あなたがご自分のぶどう園で働くよう、私に強く勧めてくださいましたからです。一体どういう意味なのですか。あなたのために私が働くことを本当にやめたらどうなるのですか。

そのようになれば、あなたを通して私が働くことができるようになります。

ああ、なるほど。主よ、おっしゃる通りです。あなたのための私の働きは、私を通してあなたが働いてくださらなければ、すべてむだです。主よ、私を適切な通路としてください。私の心を砕き、あなたがお用いになることのできる価値ある器としてください。さあ、私を通してあなたはどのような働きをなそうとされるのですか。

わが子よ、何もありません。

何ですって？ あなたは、私を通して働かれるとおっしゃったじゃないですか。私に用意してくださった、あなたの働きは何なのですか。

私の娘よ、私を愛しなさい。

主よ、ちょっと待ってください。私はクリスチャンになって、11年も経つのですよ。「私を愛しなさい」とはどういう意味なのですか。もちろん、私はあなたを愛しています。さあ、いいでしょう。次の段階は何ですか。

次の段階などありません。愛されている者よ、ただ私を愛しなさい。

主よ、私があなただを愛していることは、あなたをご存知です。なぜですか。私の生活のすべてはあなたへの働きのためにお捧げしています。どういう意味なのですか。

あなたの私への愛は、あなたの友への愛に表されるからです。

ああ、主よ、わかります。私は私の友を愛しています。

あなたの生物学の教授を、あなたは愛していますか。

ええと、私はあの教授を嫌いではありません。ただ私は関わらないようにし、教授もあまり私に関わらないようにしてくれているだけです。

あなたの生物学の教授を、あなたは愛していますか。

そうです、私たちはあまり良い関係ではありません。私たちは性格的にぶつかってしまうのです。解決できないので、私は彼を避けています。

私は彼のためにも死に、彼のためにも生きているのです。

主よ、わかってはいます。私も彼が救われて欲しいと望んでいますが、ただ、私たちは馬が合わないだけだをご存知ではありませんか。

あなたの生物学の教授を、あなたは愛していますか。

ええ、私は彼を尊敬していますし、教授も私に敬意を払ってくださっていると思います。教授は素晴らしい方だと思いますし、良いクリスチャンになれると思いますが、教授は自信過剰であり、うぬぼれが強く、偏屈な時もあります。主よ、あなたは彼の性質をご存知なはずですが、主よ、どうして彼に関する事ばかりなのですか。私が愛している他の人々を見てください。私は愛しているでしょう。

あなたの生物学の教授を、あなたは愛していますか。

主よ、彼は私が我慢できないたった一人の人なのです。彼のことを受け入れるのはかなり難しいですが、私はその他の人たちのことは愛していますし、もちろん、私があなただを愛していることはあなたをご存知です。

あなたが最も愛せない人を愛するほどにしか、私を愛せません。

でも、まあ、それでは、私はあなたをあまり愛せていないのかもしれませんが。しかし、私は11年もクリスチャンとしてやってきています。私はいつもあなたを愛していると思ってきました。でも今わかりました、主よ、私にこのことを明らかにしてください、ありがとうございます。私はこれからはあなたを心から愛します。

わが子よ、それは不可能です。

しかし、あなたが「私を愛しなさい」とおっしゃったので、私はあなたに「愛します」と言ったのです。...私には訳がわかりません。

どうしてあなたは私を愛せるのですか。あなたの内には愛がないのですよ。神が愛なのです。

それでは私は誰も愛せないのですか。

あなたは、私が誰でも愛することができるための通路なのです。

それでは、主よ、私を通して、この世の人々を愛してください。
この世の打ちひしがれた人達を愛してください。
主よ、あなたが死ぬ程に愛されたのです。
どうか、私を通して再び愛してください。

わが子よ、そうです、私は愛するでしょう。

以下の言葉は、刺激が強すぎませんか。

私たちは一番愛せない人を愛するほどにしか、神を愛せないのです。

でも、イエスは何とおっしゃっておられますか。

「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」

以下の神のみことばを感謝します。

「わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです」ローマ 5:5

求めなさい、そうすれば、与えられます！